



# 中期経営計画進捗報告

## Growing value in Next Generation Networks

2007年7月26日

アンリツ株式会社  
社長 戸田 博道

東証第1部:6754

(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

# 注 記

---

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的  
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を  
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関  
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能  
性」やその類義語を用いたもの限定されるものではありません。実際の業績は、  
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お  
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、  
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や  
競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引  
き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど  
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、  
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、  
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

# 目次

---

- アンリツの目指す方向
- 中期経営計画の目標
- 中期経営計画の進捗
- 今後の取り組み
- まとめ

# アンリツの目指す方向

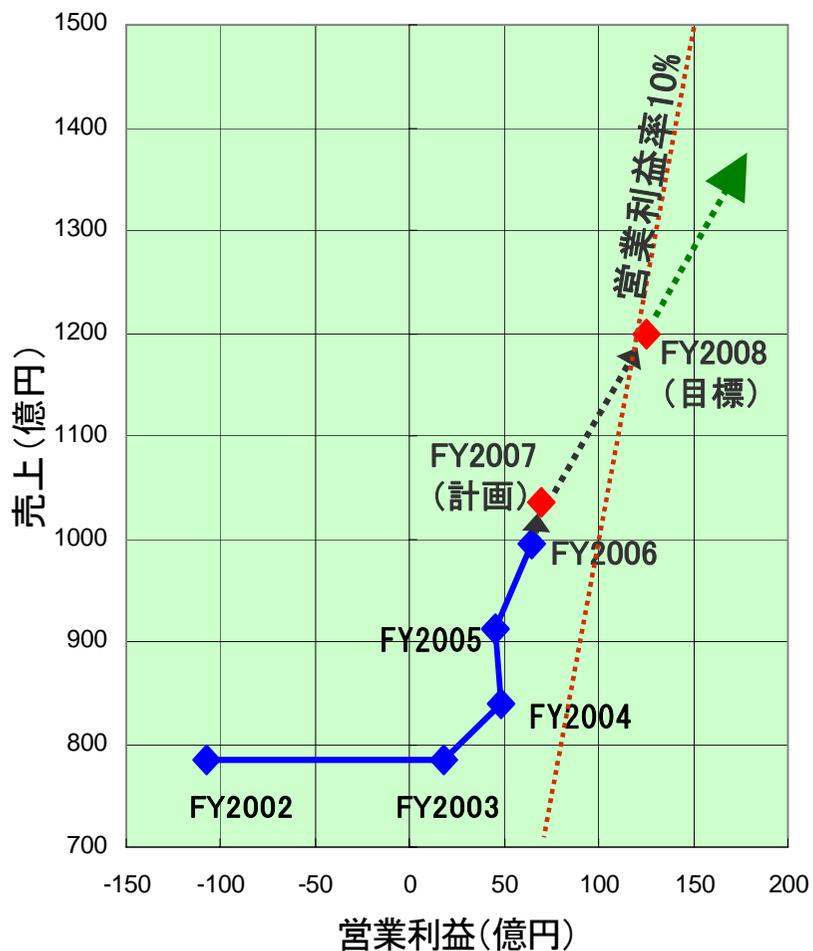


オリジナル&ハイレベルな技術と「知の製造業」モデルをベースに、計測器事業、情報通信事業、産業機械事業、その他の新規事業を通して、「安全・安心で快適な社会の実現に貢献する企業」になる

# 中期経営計画の目標と進捗



1年目の実績は売上高・営業利益ともほぼ計画通り



	FY2005 実績	FY2006 計画	FY2006 実績	FY2007 計画	FY2008 目標
売上高 (億円)	913	980	994	1,035	1,200
営業利益 (億円)	45	65	64	70	125
営業利益 率(%)	5.0	6.6	6.4	6.8	10.4
ROE (%)	0.9	4.5	2.2		10
ACE (億円)	△31	△11	△13		50

## 基本方針とその進捗

顧客の期待を上回る迅速なサービスとサポートをグローバルに提供する

計測器事業のグローバル体制強化  
- EMEA(欧州・中近東・アフリカ)地域の販売強化  
- インド事務所の顧客サポート体制強化

計画通り

産業機械事業の欧米マーケティング力の強化

計画通り

リソースの重点配分によるコア事業の強化

NGN関連の計測器事業の強化  
- 超高速通信装置用の光・デジタル・IP計測器の開発  
- サービス・アシュアランスへの開発投資

計画通り

ワイヤレス計測分野への継続的投入(3G/3.5G)

計画通り

新しい市場動向をとらえた新規事業の開拓

印刷はんだ検査機の市場展開

計画以上

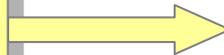
サービス・アシュアランスのTier 1戦略

成果遅れ

# 中期経営計画の目標達成に向けた取り組み

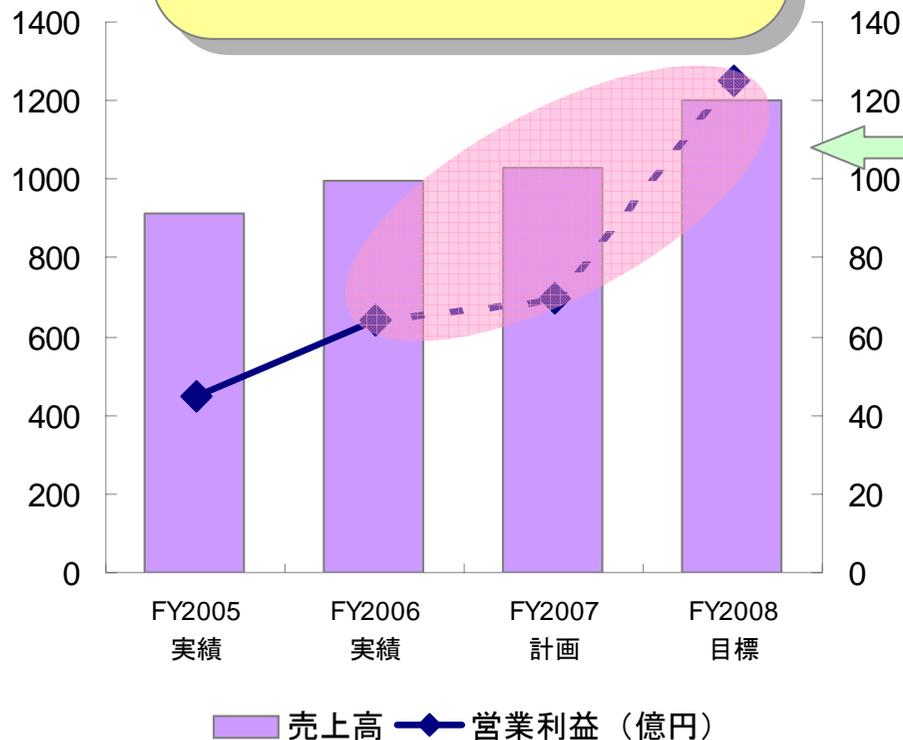
## 市場環境

- NGN・3G+などで通信用計測市場は確実に成長
- 通信技術の応用分野拡大



## 計測器事業を中心とした 2年間の取り組みで 中期経営計画達成を目指す

- NGN、3G+、汎用分野に注力した新製品による売上高、利益の成長
- 製品のコストダウンと開発の効率化
- サービス・アシュアランス事業の拡大と黒字化



# 計測器の市場状況と重点事業領域



## 通信事業者

通信サービス  
競争激化

音声通信  
ARPU低下

## 加入者

ライフスタイルの  
多様化と  
シームレスな  
サービス要求

## 通信サービスの変化

- 多様な加入者サービス
- シームレス化
- サービス品質による課金

## 当社重点事業領域

### NGN構築に向けた投資

- ブロードバンド化
  - バックボーンの超高速化
  - 有線・無線アクセスネットワークの拡充
- サービス相互接続性確保
- サービス品質保証

### 携帯端末に向けた投資

- ブロードバンド対応
  - 3G、3.5G、HSPA+、LTE

### 通信技術の汎用製品への応用

- 活発な広帯域電子デバイス・モジュール開発・製造

# 重点事業領域の計測器新製品



## NGN及びインフラ関連事業領域

超高速光IP通信ネットワーク



無線加入者ネットワーク

有線加入者ネットワーク



無線LAN

光ファイバによるトリプルプレイ



携帯電話



携帯端末  
関連事業領域

通信技術が応用される電子デバイス・モジュール



汎用計測事業領域

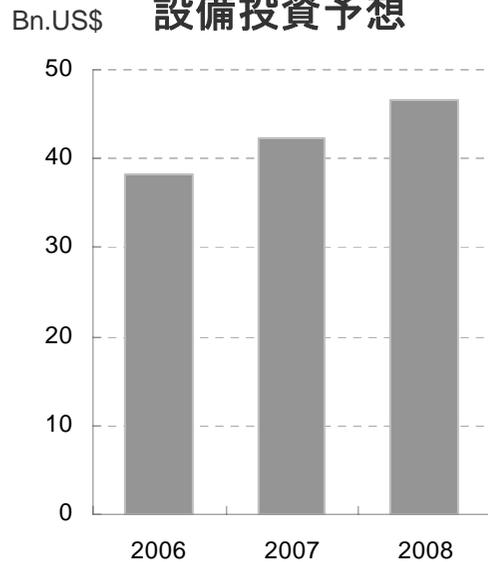


# NGN及びインフラ関連計測器の強みとターゲット市場

高性能ハンドヘルド計測器＋  
ワイヤレス・IP解析技術



ワイヤレスインフラへの  
設備投資予想

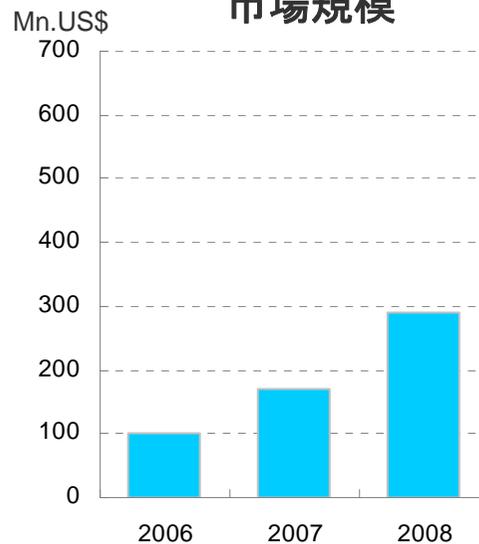


注： iSuppliのデータに基づく当社推定

固有のデバイス技術に  
支えられた超高速計測技術



40Gbit/s光通信装置の  
市場規模

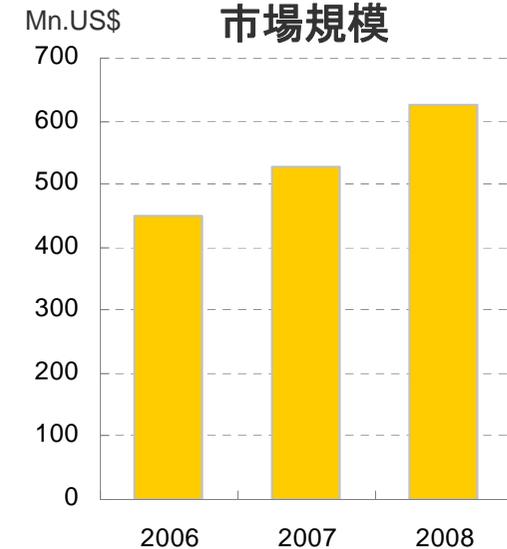


注： 当社推定

ワイヤレスモニタリング  
技術＋VoIP



サービス・アシュアランスの  
市場規模

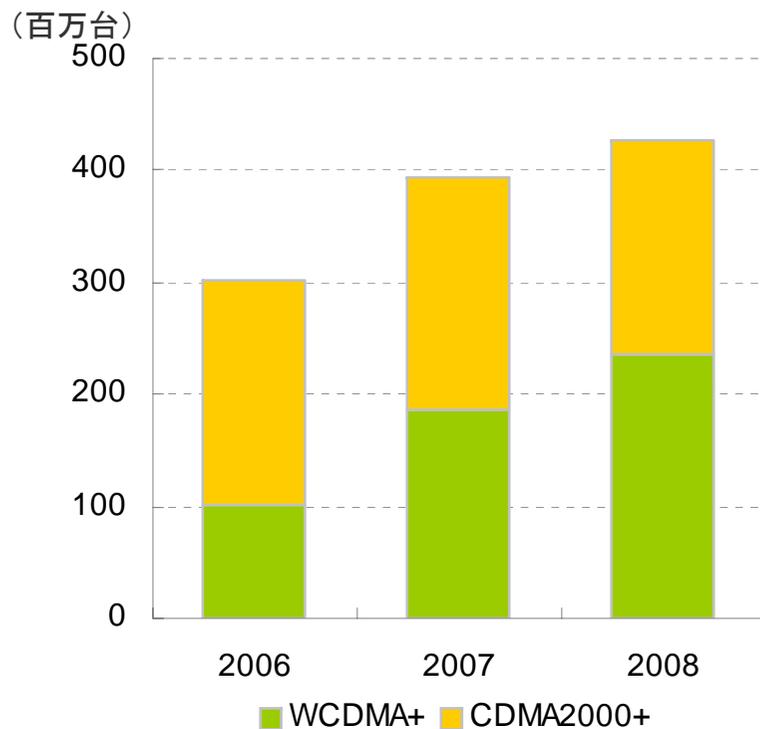


注： Frost & Sullivan, OSS observerの  
データに基づく当社推定

# 携帯端末計測器の強みとターゲット市場

## 3G+携帯端末の出荷数量予想

■WCDMA及びその発展形が伸長



プロトコル解析技術で業界を  
リードする開発用計測器



業界最多のテストケースで、  
端末の相互接続性を認証



サポート体制とともに  
グローバルに展開する  
製造用計測器



# 汎用計測器の強みとターゲット市場



業界最高水準のスピード・精度で  
ブロードバンド計測を実現した  
信号源・解析器



世界最高周波数に対応する  
マイクロ波・ミリ波計測器群  
(単体70GHz、システム500GHz)



業界最高性能でNo.1  
シェアを保持する  
汎用ハンドヘルド  
計測器



ブロードバンドデバイスの  
開発・製造  
■最先端ソリューションを求める  
電子部品業界



マイクロ波・ミリ波 部品・  
モジュールの研究開発  
■堅調な基礎・学術研究需要  
■航空宇宙用電子機器の高度化



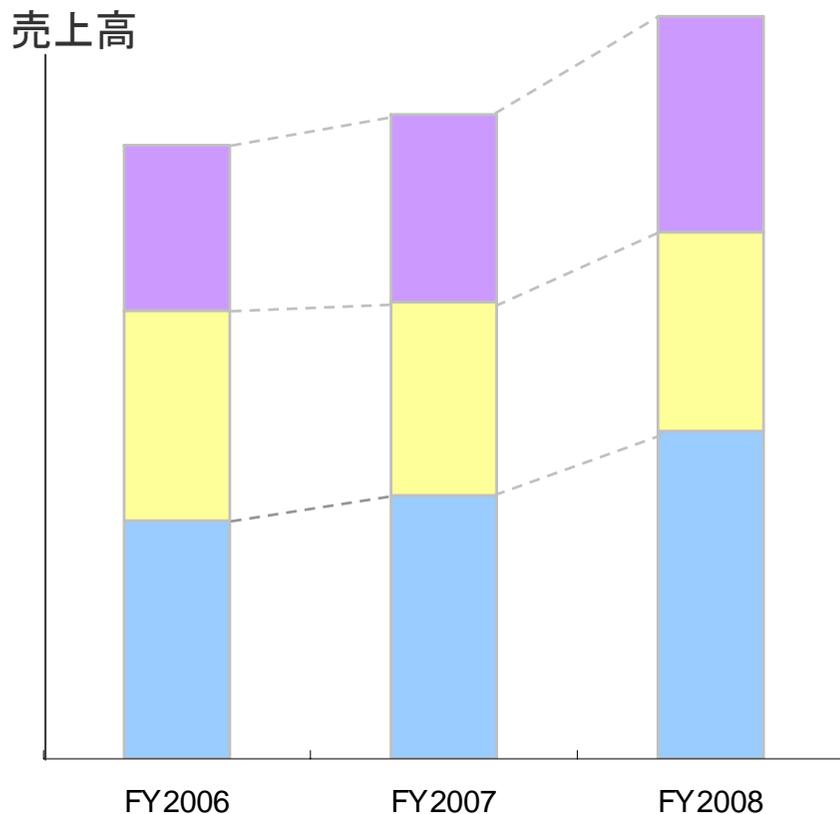
各種電波監視  
■通信の混信防止  
■電波行政



# 計測器事業領域別売上高成長イメージ



各事業領域をバランスよく成長させ、FY2008に飛躍



■ NGN/Infrastructure ■ Mobile Handset ■ General Purpose

## 汎用



汎用信号解析



汎用信号発生器

## 携帯端末



端末開発



端末製造

## NGN及びインフラ



アクセス網  
建設・保守



超高速通信装置  
開発・製造



サービス・  
アシュアランス

# サービス・アシュアランス事業の進捗



受注・売上の拡大と、システム・プログラム・マネージメントの改善により、収益性の高いビジネスを創造

## 受注・売上拡大策

- ・主要(Tier-1)顧客専門チーム : EMEAに加えて、中南米・アジアにおける主要顧客獲得
- ・VoIP、IMS、SQM、プロフェッショナルサービスなどへの事業領域拡大

## プログラム・マネージメント

- ・アーキテクチャ及びプロジェクト管理の改善

## 収益改善目標

FY2007下期:ブレイクイーブン : 予定どおりの進捗  
(のれん償却前)

# 情報通信事業と産業機械事業の取り組み



情報通信事業：構造改革による利益体質を維持し、成長フェーズに移行

安定的顧客基盤に支えられた  
官公庁IPネットワークビジネス



堅調な防災関連公共投資

+

複数のアライアンス構築による  
民需ビジネスの積み上げ



産業機械事業：安定国内ビジネス+成長海外ビジネス

高い食の安全意識に支えられた  
安定的国内ビジネス



+

差別化製品による  
海外市場開拓

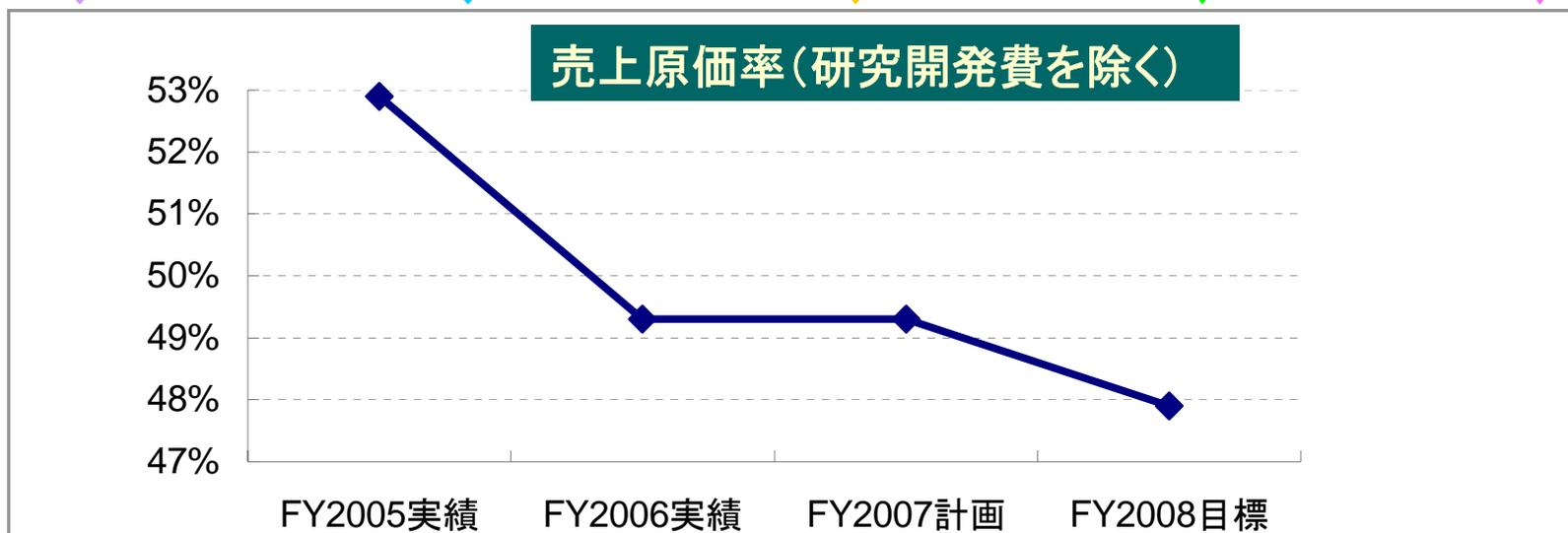
デンマーク食肉協会  
X線異物検出機が  
No.1評価



# コスト競争力の向上



## 製品のコストダウンと開発の効率化



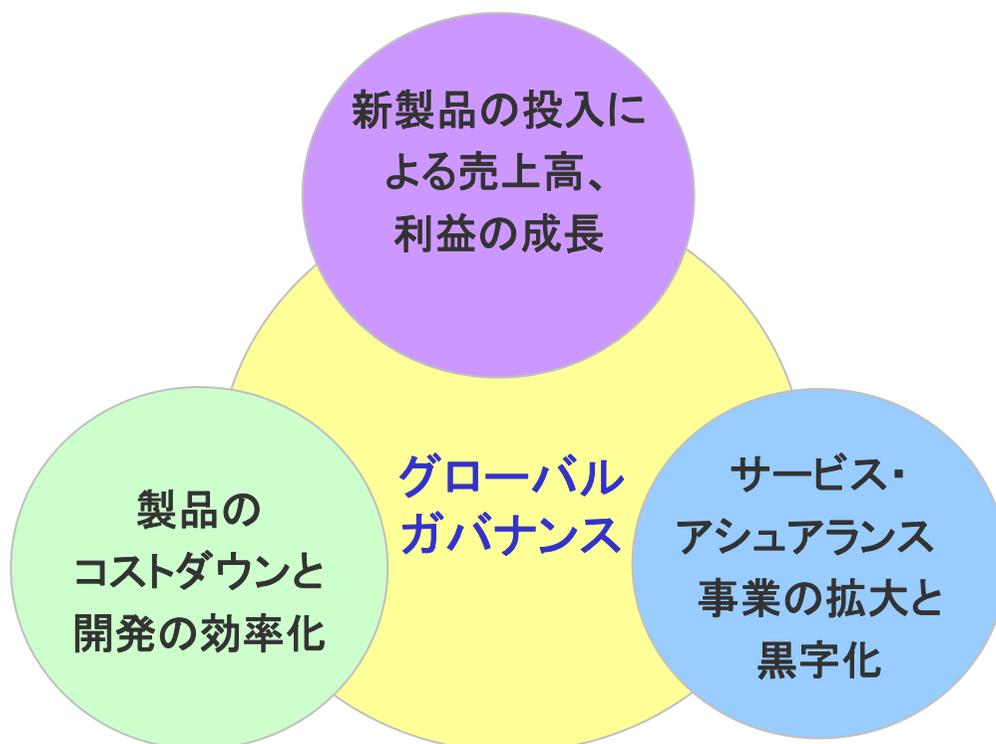
## 1. リスク

- 顧客の業界再編による設備投資の延期・抑制・要求事項の変化
- 顧客の収益悪化による価格低下圧力の増大
- 競争激化による市場価格低下
- 当社開発の遅延などによる新製品投入の遅れ
- グローバル展開による地域リスク・為替リスク

## 2. マネジメント

- マーケティング機能強化による迅速な対策実行
- 特定顧客への過度な依存をしない
- 終わりのなき製造革新の徹底
- 開発マネジメント強化のための人材確保と教育
- 特定地域に依存しない製造・販売のグローバルバランス

## 重点目標: 連結営業利益率10%以上



### FY2008数値目標

売上高

1,200億円

営業利益

125億円

営業利益率

10.4 %

ROE

10 %

ACE

50億円